

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年12月15日(2011.12.15)

【公表番号】特表2011-510777(P2011-510777A)

【公表日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-014

【出願番号】特願2010-545497(P2010-545497)

【国際特許分類】

A 6 1 M 25/01 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 5 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月26日(2011.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カテーテル挿入法のためのガイドであって、その本体(1)が、その遠位端に、前記ガイドの本体(1)の回転軸の周りに、線対称の三次元形状を持つ付属物(10)または末端片を備えているものにおいて、前記ガイドの本体(1)に対する前記付属物(10)または前記末端片の分離のための手段(4, 6)、及び前記分離手段を制御するための手段を含むことを特徴とするガイド。

【請求項2】

制御手段と関連した分離手段(4, 6)が、前記付属物(10)または末端片が現場でまたは人間の体内で前記ガイドの本体(1)から分離可能にされるような動きを可能にすることを特徴とする請求項1に記載のガイド。

【請求項3】

分離手段が機械的作用により作用することを特徴とする請求項1または2に記載のガイド。

【請求項4】

前記付属物(10)または前記末端片が、物理化学的相互作用を介して前記ガイドの本体(1)に取付けられていることを特徴とする請求項1~3のいずれかに記載のガイド。

【請求項5】

前記付属物(10)または前記末端片が、接着性を持つ物質により前記ガイドの本体(1)に取付けられていることを特徴とする請求項1~4のいずれかに記載のガイド。

【請求項6】

前記付属物(10)または前記末端片が変形可能または伸張可能であることを特徴とする請求項1~5のいずれかに記載のガイド。

【請求項7】

前記付属物(10)または前記末端片が、その形状及び/またはその容積の変更により非展開状態と展開状態との間の移行を可能にすることを特徴とする請求項5に記載のガイド。

【請求項8】

前記付属物(10)または前記末端片が、少なくとも一つの寸法、特に縦軸に垂直な面内に一つの寸法、好ましくはガイドの本体(1)の最大直径より大きい付属物の最大直径

を持つことを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のガイド。

【請求項 9】

ガイドの本体（1）の遠位端が傷つけないものか及び／又は丸められていることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載のガイド。

【請求項 10】

付属物（10）または末端片が傷つけないものか及び／又は丸められていることを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載のガイド。

【請求項 11】

分離手段が、付属物（10）または末端片に圧力を及ぼすカテーテル（4）によって形成されていることを特徴とする請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載のガイド。

【請求項 12】

分離手段が、ガイドの遠位端と一致する開放端の一つ及び内部導管または通路（6）により形成され、内部導管または通路（6）が加圧流体を運ぶことを可能にすることを特徴とする請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載のガイド。

【請求項 13】

線対称の三次元形状が卵形、回転橈円形または橈円形であることを特徴とする請求項 1 ~ 12 のいずれかに記載のガイド。